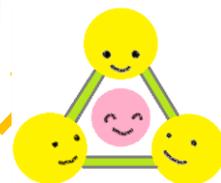


下野市立石橋小学校学校運営協議会だより

とらいあんぐ



第2号

令和4年7月

第2回学校運営協議会を開催しました

6月27日（月）に、第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、授業参観とグループ協議の2本立てで実施しました。前半の授業参観では、石橋小児童の学びの様子を参観しました。この日は35℃を超える猛暑で、感染症対策をしながら水泳の練習をする様子が印象的でした。後半は、協議会委員と学校職員が、「働き方改革」について協議しました。4つのグループに分かれて、実りある協議ができました。以下簡単に全体会で発表された協議の内容についてお知らせします。

授業参観の様子



協議：教員の働き方改革について

＜学校職員から＞

- ・ 校務が多く、児童と触れ合ったり、自分を高めたり、他の先生と相談したりする時間が取れない。
- ・ 仕事量が多い割りに、空き時間や業務のための時間が少ない。
- ・ 校務と学級・学年指導のバランスを取るのが難しい。
- ・ 1日分の授業準備をするのにも、多くの時間を要する。
- ・ 残業時間が長い。
- ・ 自分が抜けると、クラスを他の先生に見てもらうことになるので、休暇を取りづらい。
- ・ コロナ禍での学習機会の保障や補充に責任を感じる。



<学校運営協議会役員から>

- ・ 学校の先生が抱えているものが多すぎる。学校の業務範囲（できることとできないこと）を明確にする必要があるのではないか。
- ・ 1クラスの児童数を減らせれば、先生の負担感も減らせるのではないか。
- ・ 先生の「教員として成長したい」思いに、何か手を打てないものか。
- ・ 国の「働き方改革」への動きはトーンダウンしているのではないか。教職志望者も減ってきている。
- ・ 教育にお金をかけない国は発展できない。国や県、市は人材確保などに予算を投じてほしい。
- ・ すぐできそうな対応策もいくつか。例えば、放課後の電話受付は〇時まで。それ以降は留守番電話対応にする。先生の「ノー残業デー」を作るなど。先生方が困っていることを、声に上げることが大切なのではないか。



<学校管理職から>

- ・ 能率のよい仕事ができるよう、今回の協議を機にスタートさせたい。
- ・ P T A や学校運営協議会等と連携しながら、児童のために先生が働きやすい職場環境を作っていきたい。



活発な協議をありがとうございました。

水泳見守りボランティア、登下校見守りボランティアを始め、いつも子どもたちの見守りをありがとうございます。

本校のボランティアは「できることを、できる時に、できる範囲で」がモットーです。これからも、石橋小学校児童をよろしく願います。

